

平成30年度の重点課題

○男子

「50m走」「立ち幅跳び」において、県平均値かつ全国平均値よりも低い学年がある。

○女子

「握力」「立ち幅跳び」において、県平均値かつ全国平均値よりも低い学年がある。

上記の課題を受けて具体的に  
取り組んだ事項

○「50m走」

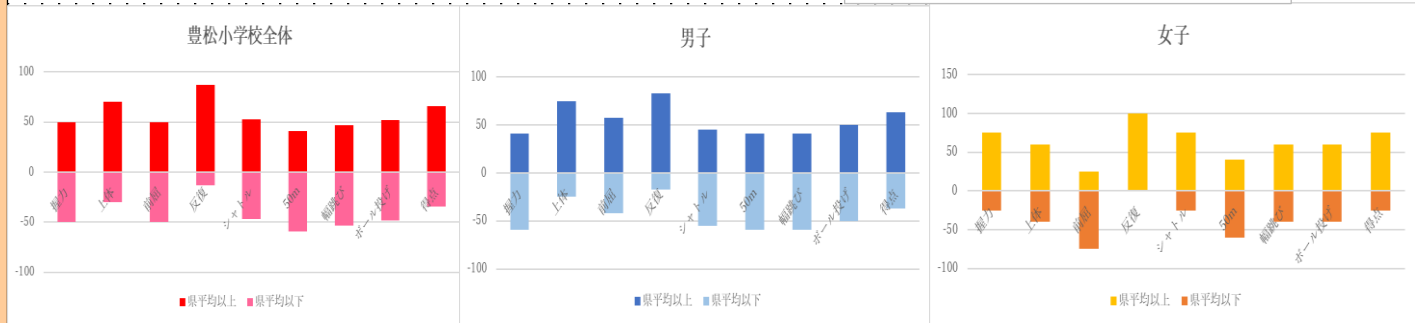
→ 50m走の距離を速く走りきることに弱さが見られる。「陸上運動」領域や「ボール運動」領域の体育科授業で走る動きを意識して授業改善を行ったり、全校遊びの機会に50m走の距離を走る場を設定したりした。

○「立ち幅跳び」

→ カ一杯跳ぶ動きに不慣れでぎこちない様子が見られる。「器械運動」領域の体育科授業で跳ぶ動きを意識して授業改善を行ったり、全校遊びの機会に跳ぶ動きを行う場を設定したりした。

平成31年度新体カテストの結果（県平均値（平成30年度）との比較）

0より上が、県平均以上の割合を示している。



※各学年少人数のため、プライバシー保護の観点から、学校全体の結果のみを公開します。

重点課題

○男子

「握力」「20mシャトルラン」「50m走」「立ち幅跳び」において、県平均値かつ全国平均値よりも低い学年がある。

○女子

「長座体前屈」「50m走」において、県平均値かつ全国平均値よりも低い学年がある。

◎男女ともに「50m走」において課題がある。

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

○「50m走」

- ・「陸上運動」領域や「ボール運動」領域の体育科授業で走る動きを意識して授業改善を行う。
- ・全校遊びの際に、様々な動きで走る場を設定する。

平成32年度の目標値

- 新体カテストの総合評価のE・D率を20%以下にする。
- 50m走において県平均値かつ全国平均値未満の項目の割合を50%未満にする。